

44年生まれ。韓国で外交官を長く務め、04年に盧武鉉政権下で外交通商相となる。07年に東アジアからは初となる第8代国連事務総長に就任し、現在2期目。



バン・ギムン  
潘基文  
国連事務総長

# 共通の未来へ、いま変わろう

国連70周年

## 私の視点

事務総長になるずっと以前から、国連は、私の人生において特別な位置を占めていた。

(1950年に)朝鮮戦争が勃発したとき、私は6歳だった。私の村が炎に包まれ、家族で近くの山に逃げた記憶がある。

しかし、より忘れられない光景、それは国連の旗である。私たちは国連の食料援助によって飢えから救われ、ユネスコ(国連教育科学文化機関)から教科書を提供された。そして、世界の人たちは私たちの苦しみのことなど気にかけているのだらうかといふかっていたとき、多くの国々の部隊が、自らの命を犠牲にしながら安全と平和を取り戻してくれたのである。

私は子どものころから、そして、その後何十年かの公職にいる期間を通じて、国連が計り知れない変化をもたらすことができることを知っている。国連憲章は45年6月26日に米国のサンフランシスコで採択され、70周年を迎えた。憲章は「われら人民」の名で起草されたが、その「われら人民」にとってより安全で、より持続可能な未来に向け、人類が一つになって努めていくことを決意を新たにしながら願うものである。

70歳を迎えた国連は、振り返れば、植民地主義をこの世からなくし、アパルトヘイト(人種隔離)に勝利し、争いのあつた地域に平和をもたらし、そして人権を守るための条約や法の体系を整えるという、誇らしい足跡を残してきた。

日々、飢えた人には食料を、難民には保護を、ポリオなどの死に至る病を予防するため子どもたちにはワクチンを提供している。救援チームは遠く、危険な環境でも果敢に人道的支援を行い、調停担当者は、敵対している当事者たちの間に共通項をなんとかみつけ、不満と争いを平和裏に解決しようと苦心している。

国連は次の世界大戦を防ぐために生まれ、その最も重要な使命を果たすことができた。容易ならぬ失敗もあったが、国連がなければ過去70年間、もっと多くの血が流れたことは確かだろう。

ただ、私たちは依然として、紛争と搾取、絶望によって傷つけられている光景を目の当たりにしている。少なくとも5950万人が故郷を追われ、難民や国内避難民、難民申請者の数は第2次世界大戦後で最も多い。女性に対する暴力は、すべての社会に暗い影を投げかけている。人びとには差し迫ったニーズがある中で、莫大な金額が核兵器や世界を不安定にさせる他の軍備につき込ま

れている。気候変動の影響は現れ始めたばかりだが、かつてないほど明らかになっている。

ホロコースト(ナチスドイツによるユダヤ人らの大量虐殺)の後、世界は「決して繰り返さない」と言っただけにもかかわらず、(アフリカ中部の)ルワンダ、(ボスニア・ヘルツェゴビナ東部の)スレブレニツァと大量虐殺が繰り返され(注)、暴力的な過激派などによる残虐な犯罪が続いている。

(45年のサンフランシスコ会議に)50カ国の代表が集まり、国連憲章を起草してから、加盟国は193にまで増えた。グローバルゼーション、都市化、移住、人口移動、技術の進歩やその他の劇的な発展は、私たちの社会のかたちを変え、国際関係に変化をもたらし続けている。

しかしながら、国連憲章が構想した平和な世界、そしてその文章に盛り込まれた尊厳、平等の権利、寛容と自由といった価値は、どの地であっても、人びとにとっての参照すべき基準であり続けている。

国連70周年は、私たちの共通の未来に関する重大な、そして可能性を秘めた決断をする年になる。

国連加盟国は、新しい持続可能な開発目標が希望にあふれたものになるよう合意を形成し、気候変動に関する有意義な合意に向けた動きを進めている。

私たちの目標は、私たち自身が変えることだ。現代は、この地球上から史上初めて貧困をなくすことが可能になった時代であり、そしてまた、地球温暖化による最悪の影響を避けるために行動できる、最後の時代でもある。

「国内」と「国際」の問題を区別する垣根はますます低くなっている。一国が直面する課題は、時にゆるやかに、しかししばしば突然のこととして、あらゆる国々が直面するものになるだろう。

これまで以上に密接な関係で結びつくことが避けられない中、私たちは将来、かつてないほど深い協調で一つにならなければならない。「国連」という名にふさわしい地球市民の精神に基づいて。

投稿先: [asahi.com](mailto:asahi.com) 〒104-8001 (住所不要) 朝日新聞本館2101号室「私の視点」係へ。電子メディアでも掲載します。